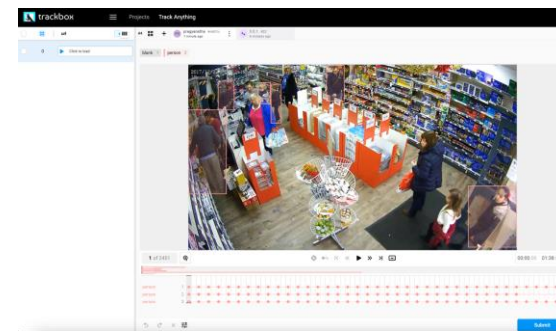


課題名 映像認識AIのデータセット構築に特化したアノテーションシステム「TrackBox」の事業化

プロジェクトの概要

自動運転やスポーツ産業での映像認識AIの発展に伴い、大規模なデータセット構築の必要性が高まっているが、映像アノテーションに伴う多大なコストが障壁である。我々はアノテーション効率化によりデータセット構築コストを10分の1に削減することを目指し、映像認識AIに特化したアノテーションシステム「Trackbox」を開発する。Trackboxは物体追跡・行動検出モデルと独自の大規模データセットを活用し、人手による修正作業を大幅に簡易化する。



ビジネスモデル(申請時)

本事業期間中の目標

物体追跡AIに対象を絞り、
プロジェクトベースでの有償化
を目指す。

● プロジェクトベースモデル

アノテーションを任せたい企業向け
50万円～

- ✓ 20時間～の映像をアノテーション
- ✓ ヒアリング・プロジェクト管理

● サブスクリプションモデル

自社アノテーションチームを持つ企業向け
1万円 / ユーザー / 月

- ✓ TrackBox UIへのアクセス
- ✓ 従量課金で推論AIが使用可能

活動計画(申請時)

市場調査やニーズ調査のためのユーザーヒアリング

- 映像認識AIを構築する事業会社や研究機関に対し、データセット構築に関する要望、課題をヒアリングし、本事業の仮説を検証する。

物体追跡AIを構築する企業においてテスト導入を実施（βテスト）

- 映像認識AIのうち物体追跡AIを構築する事業会社に焦点を当て、Trackboxのテスト導入を行う。
またテスト導入にて得られた顧客フィードバックに基き主要機能とユーザーインタフェースの改良を行う。

特許検討・申請

- 特許申請に向けての特許検索、調査、申請書作成を検討する。